

国内実態調査報告書

テーマ : 課題演習
ゼミ名 : 菅野 洋介ゼミ
調査日 : 2019年9月10日(火)～9月12日(木)
調査先 : 株式会社ツルハホールディングス、株式会社セコマ
授業科目名 : 演習Ⅰ・Ⅲ
参加学生数 : 15人(3年生)、10人(4年生)

調査の趣旨(目的)

今回の実態調査は、ドラッグストアチェーンの(株)ツルハホールディングスとコンビニエンスストアチェーンの(株)セコマを訪問し、それぞれの企業の戦略の基本的な考え方を学ぶとともに、具体的な事業展開(出店戦略、PB商品の開発、ビジネスシステム等)について深く理解することを目的に実施した。

調査結果

本演習の目的は、市場で成功する商品が生まれる論理やメカニズムを経営学の観点から探求することである。今回の実態調査では、商品が顧客に販売される小売や流通の事業展開を理解することを目的に、ドラッグストアとコンビニエンスストアという小売業を展開するツルハホールディングスとセコマを訪問した。ツルハホールディングスでは、全国シェアトップを果たす過程においてどのような戦略的意図のもとで、M&Aを実施したり、出店を進めてきたのか、さらにはPB商品の開発が行われてきたのかを詳しく理解することができた。また、北海道を中心にコンビニエンスストアを展開するセコマにおいては、北海道地域に根差した事業を展開するうえで、原材料の調達、工場での生産、物流システム、店舗運営に至るサプライチェーン全体をいかにマネジメントしているのかを詳しく理解することができた。また、北海道内の各地域に存在する社会的課題を、自社の経営資源やビジネスを通じて解決するビジネスモデルの展開についても詳しいお話を伺うことで、企業と社会の関係についても深く理解する機会となった。